

くもと ひろし  
言語学教授 熊本 裕

1948年 生

## I. 略歴

- 1974年3月 東京大学文学部言語学専修課程卒業（文学士）  
1974年4月 同 大学院人文科学研究科言語学専攻修士課程入学  
1976年3月 同 修了（文学  
修士）  
1976年4月 東京大学大学院人文科学研究科言語学専攻博士課程入学辞退  
1976年4月 東京大学文学部助手（言語学研究室）  
1976年8月 同 休職（海外研究のため）～79年8月（休職期限につき退職）  
1976年9月 米国ペンシルヴェニア大学大学院東洋学科博士課程入学  
1982年12月 同 修了（哲学博士）  
1983年4月 四天王寺国際仏教大学文学部助教授～89年3月  
1989年4月 東京大学文学部助教授（言語学）  
1994年6月 同 教授  
1995年4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授（言語学）

## II. 研究活動（1995年11月～1997年10月）

### 1. 概要と自己評価

ここ2年間の研究の中心は、ロシア科学アカデミー東洋学研究所（サンクト・ペテルブルグ支部）所蔵のコータン語写本だった。これはロンドンのスタイン蒐集、パリのペリオ蒐集に次ぐ大規模なコレクションだが、ペレストロイカ以後ようやく外部に開放されたものである。ロシアの研究者との協力の元に数度にわたる調査を行ない、一応の成果をまとめたのが東洋文庫の英文紀要に発表した論文である。ここでは、ロンドンやストックホルム（ヘディン蒐集）の写本を含めて総合的に敦煌出土以外のコータン語写本全体の位置付けを行なっている。

### 2. 主要業績

1. “Dhāraṇī”, “Dharma-śarīra-sūtra”, “Dresden, M. J.”, *Encyclopaedia Iranica*, Vol. VII, Fasc. 4, 356-357, *id.* 358, Fasc. 5, 551-552, Costa Mesa, CA., Mazda Publishers [1995]
2. “Did Late Khotanese have a three vowel system?”, *Proceedings of the Second European Conference of Iranian Studies*, Roma, IsMEO, 1995, 383-390. [1995]

3. 「アナプテュクシス」, 「インドの言語学」, 「グループ活用」, 「数詞数」, 「バルトロマエの法則」, 「ゴティオ」, 「ヒュプシュマン」, 「ベンファイ」, 「ライヒェルト」, 『言語学大辞典』, 第6巻(術語編), 三省堂 [1996.1]
4. Review of R. E. Emmerick, M. I. Vorob'ëva-Desjatovskaja, *Saka Documents VII: the St. Petersburg Collections*, London 1993, *Corpus Inscriptionum Iranicarum, Indo-Iranian Journal* 38, 1995, 371-376. [1996]
5. "The Khotanese in Dunhuang", Alfredo Cadonna ed., *Cina e Iran. Da Alessandro Magno alla Dinastia Tang*, Firenze, Leo S. Olschki Editore, 1996, 79-101. [1996.7]
6. "The Khotanese Documents from the Khotan Area" (with an Appendix by Saitô Tatuya), *The Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko*, 54, 1996, 27-64. [1997.3]
- 7.(彙報)「東洋学研究所所蔵コータン語文書の意義」, 『東洋学報』第78巻 77-81 [1997.3]
8. Review of R. E. Emmerick, M. I. Vorob'ëva-Desjatovskaja, *Saka Documents Text Volume III: the St. Petersburg Collections*, London 1995, *Corpus Inscriptionum Iranicarum, Orientalische Literaturzeitung*, 92, 1997, 239-245. [1997.6]
9. "Textual Sources for Buddhism in Khotan", John R. Mcrae and Jan Nattier ed., *Buddhism across Boundaries: Proceedings of the Conference at the Hsi Lai University 1993*, Taipei 1997 [in the press].

### 3. その他の研究活動

#### ・海外調査

96年1-2月サンクト・ペテルブルグ東洋学研究所(文部省科学研究費)

96年7-8月サンクト・ペテルブルグ東洋学研究所及びパリ国立図書館(日本学術振興会)

#### ・学会発表

東洋文庫平成8年度秋期東洋学講座(サンクト・ペテルブルグ文書の世界), 第435回(10月22日), 「東洋学研究所所蔵コータン語文書の意義」

#### ・研究会主催

『歴史言語学の集い』(言語学研究室)及び『内陸アジア出土古文献研究会』

## III. 教育活動

### 1. 講義・演習題目

(1996年度) 学部講義:「比較言語学」, 「トカラ語研究」(大学院と共通) 演習「印欧語比較研究」(大学院と共通). 大学院演習:「言語学演習」

(1997年度) 学部講義:「比較言語学」, 「イラン語文献学概説」(大学院と共通),

演習「印欧語比較研究」(大学院と共通). 大学院演習:「言語学演習」

## 2. その他

博士論文審査 1 件

修士論文・卒業論文は教官全員で審査にあっている.

## IV. 主要学内行政

(全学)入試実施委員会委員(95.5-96.4)及び同副委員長(96.5-97.4)

## V. 学外での主な活動

(1996 年度)高知女子大学非常勤講師(言語学)